

みよちゃん

社協だより 90

令和2年11月発行
御代田町社会福祉協議会

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています



人が繋がり、みんなが楽しめる
「MIYOTAふれあいファーム」を

目指して

内堀里江子

社協とご縁が繋がったのは、ライ麦ストローの取り組みがきっかけでした。その時に、今年からハートピアの東側にある畑をお借りする事が決まっていたので「ここを利用者さんの憩いの場にしたらどうだろう」と思い職員さんに相談したところ、以前から農福連携をやりたいと思っていたところのお返事を頂きました。経験のない初めての取り組みでしたので、まずは御代田町在住のご家族やお勤めの方々と協力し合いながら、農薬や化学肥料を使わずに野菜を育てる共同の畑として始めてそこへ利用者さんに遊びに来てもらいました。

「ゴミやフキ、ツクシ、ヨモギなどが出ていると目をキラキラさせて採り始める方がいたり、車椅子に乗って来た方が歩き出したり。職員さんがジャガイモの定植を手伝ってくれている時や、子どもが飛び回って遊んでいると、利用者さんが温かい眼差しで見守って下さいました。虫を捕まえたり、花を摘んだり、作業のお手伝いをしたりと子ども達にとっても自然の中から興味を見つけ出す体験の場になっています。ふれあいファームを通じて人が人を呼び、みんなが仲良くなり、コミュニティの輪が自然と出来ています。

今年は「コロナ禍」の厳しい状況が続いていますが、屋外での作業は密にならずに交流ができるので、感動を分かちあえる貴重な時間になりました。これからも「MIYOTAふれあいファーム」で新しい出会いが生まれ、人と人が繋がり、みんなが元気で楽しめる場所となるように続けていきます。来年度の畑仲間も募集していますので、ぜひ一緒にやりましょう。

『フードバンク』って何？

フードバンクとは、品質に問題はなく安全に食べられるのに、包装の破損や印字ミス、過剰在庫など様々な理由で流通に出すことができない食品を企業や団体から寄贈していただき、必要としている施設や困窮世帯に無償で提供する活動です。

フードドライブとはこの活動の中でも、地域住民との連携を図り広く一般家庭からも食品の提供を呼び掛け、それを必要としている施設や世帯に供給していく、地域で問題を解決していく活動です。「ドライブ」は活動や運動という意味で、food（たべもの）drive（運動）で、「食べ物を集める運動」

という意味になります。フードドライブは各地域のフードバンク団体が行政窓口や公共施設、NPO法人、社会福祉協議会などの事務所に食品の回収ボックスを設置し、実施しています。

これらの活動の背景には「食品ロス問題」や「貧困問題」があります。日本ではまだ十分食べられるにもかかわらず廃棄されている食品が、事業者から約357万トン一般家庭からも289万トン年間計646万トンも出ています。これは世界全体の食糧援助量の約2倍に相当する量です。一方、日本の貧困問題は年々深刻になりつつあり、OECD諸国の平均と比べても相対的

貧困率が高くなってきています。これは国民の所得格差の大きさを表すと言われており、それに応じて日々の生活にも困窮する世帯が増えてきています。

また、これら生活困窮世帯で暮らす子どもは7人に1人の割合となってきたいて、日々の食事也十分満足に与えられない子どもが多くなり、この子達の食糧支援の解決手段としても、上記の廃棄食品を有効活用していくことが注目されています。御代田での食品ロスを見直す取り組み「NPO法人フードバンク信州」では、これまで食品ロス削減と生活困窮者支援のため「フードドライブ」を実施してきました。「NPO法

人フードバンク信州」主催で2019年度に行われた「夏休み・冬休み子ども応援キャンペーン」では、御代田町の小学校においてもフードバンク信州から食品の提供を受けました。

処分に困っている人と
食に困っている人を
「ありがとう」でつなぐ事業



『フードバンクみよた』とは？

フードバンクみよたとは、近年様々な事情から共働きや生活が困窮する家庭または個人が増え特に食事を満足に与えられない子供達の問題などが社会的な関心事となっ

ています。これからはさらに地域に密着し地域住民との連携を図った活動をしていくために「フードバンクみよた」を立ち上げました。

「フードバンクみよた」は、個人または団体、企業等に広く各種食料品の提供協力を求め、町内で食料品を緊急に必要としている生活困窮者等に、状況に応じて食料品を提供することを目的としています。

協力している企業

では、協力している企業や団体には、どのような背景があるのでしょうか。御代田町内に本社を構え、この「フードバンクみよた」の事業に大き

く貢献している企業、西軽井沢物産株式会社のお話を聞くことができました。

西軽井沢物産は、旧軽井沢、松本空港に直営店、その他にジャムやお菓子など信州のお土産を、県内のホテルなどに卸す会社です。

野沢菜や、おやきに至っては自社で製造も手掛けています。しかし、こちらの会社も新型コロナウイルスによる旅行の自粛の影響で、大きなダメージを受けてしまいました。

「お土産は、コロナ禍で一番の不要品となってしまった。」と、社長自らがおっしゃる通り、外出自粛を強いられる中でお土産が売れるはずもなく、在庫がたまる日々が続いたそうです。返品されたお菓子を2トン、数にして数千箱を焼却処分したこともあったのだとか。保管場所もなく、賞味期限も迫ってくる中、「売上にはならないが、どうせ捨て

てしまう物ならば誰かの役に立ててほしい。」という思いでフードバンクみよたに寄付することにしたそうです。



大量の在庫を寄付しても、すぐに無くなる状況に社長は「必要としている人達が、こんなに沢山いるのか？」と驚かれたそうです。焼却廃棄すれば廃棄料もかかり、CO2の発生にもつながってしまいますが、必要としている人の手に渡ったことで困っている誰かの「ありがたい」に変えることができました。

この事業では一般の方からの寄付も受付けています。

賞味期限が1か月以上ある食品で、米、パスタ、みそ、しょうゆ、缶詰、レトルト食品、カップ麺、菓子等です。生野菜の場合は事前にご連絡をください。

御代田町社会福祉協議会

福祉係 三三ー一〇〇

(平日八時半～一七時半)

無理せず
ご自分のできる範囲で。
座ってできる体操が
中心です。

仲間と一緒にだと
楽しく続けられる！

仲間と一緒に楽しく運動！ 笑顔とともに健幸に！

健幸教室 参加者募集中！

- 開催期間 : 令和2年12月～令和3年2月（3ヶ月間）
- 開催日時 : 毎週金曜日15：00～17：00（初回開催日12月4日(金)）
- 場 所 : 御代田町地域福祉センター「ハートピアみよた」
- 参加費 : 10,000円（1教室1,000円×10回）
- 対象者 : 御代田町内にお住まいの概ね60歳以上のかた
- 募集定員 : 15名
- 教室の内容
 - ☆筋トレマシーン「ボディスパイダー」で、筋力UP！
 - ☆自宅でもできる体操指導
 - ☆管理栄養士による栄養指導
 - ☆仲間と話をしながら、地域活動で必要な知識を得る講座「THE・団塊」

<申し込み・お問い合わせ> 御代田町社会福祉協議会
電話：0267-32-1100 担当：総務福祉係 山田、大木

本事業（教室）は、「長野県地域発元気づくり支援金事業」として実施いたします

「フードバンクみよた」での
食料品等の募集について

「フードバンクみよた」では、食品ロスを失くす取り組みと、生活が困窮している家庭に食品等をお渡しし、必要に応じて様々な支援に繋ぐ取り組みを充実させていくため、ご家庭や企業で余剰食品等がありましたら、お問い合わせください。また、フードバンクのご利用希望の方についても、お申込みできますので、こちらまでご相談ください。

御代田町社協福祉係（三三ー一〇〇）

ご寄付御礼

（令和二年七月～令和二年十月）

・三嶋 様 十万円

・やまいし株式会社代表取締役

土屋 圭市 様 一万円

・株式会社 ロングフィールド 様

不織布マスク 四千枚

・平井 様 五十万円

御代田町地域サポート応援事業の
助成（赤い羽根共同募金事業）について

新型コロナウイルスの影響が長期化し、感染の拡大防止等の対策により、地域活動等の停滞となり、「人と人」との繋がりが薄れてしまうことにより、あらゆる影響が出ることを恐れています。

こうした状況により影響を受けた方々に対して、生きがいの創出や生活支援を行う町内団体等をサポートするため、令和二年中に事業を行うことを条件として、赤い羽根共同募金を財源に助成いたします。

その他、事業の申請相談などの詳細については、御代田町社会福祉協議会（共同募金御代田町委員事務局）まで、ご連絡を下さい。

担当：山田（TEL 三三ー一〇〇）



【編集後記】

思えば、今年は二月初旬のダイヤモンドプリンセス号の騒動から始まり、その後はわが国もコロナウィルスに翻弄され、さらに人々の分断が進んだのか、各地で様々な対立や紛争が起り、今まで経験したことのない緊張感に包まれ、行動も制限された一年でしたが、このような環境の中では、じっと自らの生き様を見つめ直すいい機会にもなりました。

また、このような不穏な社会情勢の中では社会的な弱者と強者との色分けが鮮明になりこれからの我々がどのような道を進んでいくべきか、どのような状況の人達を援助していくべきなのか、改めて示されたような気がします。

来る新年は明るくなると信じつつ、今年の教訓を踏まえ、新たな社会的活動を模索していきたいと考えていますので、宜しく願います。（飛松）

社協だより
みよちゃん
No. 90



発行日

令和2年11月25日

発行者

社会福祉法人
御代田町社会福祉協議会

御代田町御代田 1772 番地 1

TEL: 0267-32-1100

FAX: 0267-32-1111

ボランティア便り

とうもろこし

発行 御代田町ボランティア地域活動連絡協議会

No.74



新しいかたちのサロンを始めました

上原京子

コロナ禍で、私の生活もいろいろ変わりました。今までのお付き合いや外出が少なくなりました。田んぼの米作りも今年はどうなるだろうかと心配でした。マスクをして田んぼの見回りに行きました。秋になって無事に収穫の時期を迎え、ご近所の皆さんのお陰で稲こぎができ、今年もいつもの年のように収穫できてよかったです。

田んぼが終わりそろそろ近所のお茶飲み仲間の皆さんとも会いたくなりました。近くにある「あずまや」に水筒やお弁当を持ってマスクをして集まることにしました。「あずまや」は周りにかわいい遊具があったりボール遊びができそうな広い場所もあります。以前のようにおしゃべりに花が咲きました。思いがけずこんな身近な所でサロンが開けました。中止になっているいろんな活動があります。なかなか踏み出せませんが、新しい安全なやり方を考えながら少しずつ活動が始まっていくばいいなあと思います。

雪窓公園周辺のゴミ拾い

結愛の会 関久美子

例年は五月に予定しているゴミ拾いですが、今年はコロナ自粛の為に活動を休止していました。でも、ゴミ拾いは外での活動ですし密になる事なく作業ができるので、寒くなる前にという事で秋晴れの九月末日にほぼ全員が集まってくれました。久し振りに会う仲間の元気な様子に喜びながら、

さっそく雪窓湖チームと公園チームに別れて作業開始となりました。

遊びに来る人も少ないのか、ゴミはあまり無くペットボトルや空き缶が多かったです。また、駐車場や道路沿いなど車利用の方のゴミが目立ちました。小さな子供達も遊ぶ公園なので、一人一人の心掛けが大切だと思います。美しい自然を守り、ゴミの無い公園になるように、皆様も協力していただけたら幸いです。

階段の端材から積み木を作りました

栄町 沼田清

コロナ禍の現在、子供から大人まで年齢に拘わらず誰しもがこれまでの日常生活と大きく変わった新しい毎日に戸惑うばかりであります。

この様な時に、前々からやりたかった工事をご近所の(株)大井建設工業さんをお願いしました。その際に発生した端材を産業廃棄物として処理すると云うので、私の生来の貧乏性がムズムズし、

「それは勿体ない」という思いで譲っていただき、自分で「積み木」に刻みました。

それから、社会福祉協議会職員の仲立ちを得て、その積み木を御代田町向原の「たんぽぽ保育園」さんの

園児さんたちに遊んでもらうよう、プレゼントさせていただきました。

端材の有効利用でおもちゃとして園児さんたちに楽しんでもらえるのなら嬉しいことです。



ふれあい安心コール

(たつじや会)

ボランティア募集!

「ふれあい安心コール」は、日中一人暮らしの高齢者に、週一回安否確認を兼ねて、お電話でお話していただくボランティアです。興味のある方は御代田町福祉係まで。

TEL 三三一一〇〇

門松（かどまつ）は、一年の幸福をもたらしてくれる神様に、家に来てもらうための目印となる正月飾り。ご存知ですか？

門松とは

- ・お正月にやってくる歳神様が迷わず家に来ていただくための目印となるもの
- ・歳神様が降りてこられた後、宿る依り代（よりしろ）になるもの
- ・一年の幸せ（昔は五穀豊穡）を願うもの
- ・長寿を願うもの

このような意味を持つている正月飾りです。ちなみに門松は松飾り、飾り松、立て松とも呼ばれます。

門松をお正月に飾るようになったのは、平安時代の宮廷儀礼の「小松引き」という行事と考えられています。平安時代には「初子（はつね）」と呼ばれる、一年の最初の「子の日」に野に出て宴をする文化がありました。この日に子供が松を根ごと引っこ抜いて、その松を玄関に飾つたのが門松の由来とされています。起源を見ると、今の門松の主役は竹のように感じますが、実は松が重要な素材であることがわかります。



ちなみに竹が門松に含まれるようになったのは室町時代とされています。

その後江戸時代に入ってから、武家も商家も農家も宮廷行事に倣い家の入り口に門松を飾るようになったそうで、江戸時代にはかなり豪勢な門松も見られます。

門松の基本的な構成は松、竹が基本です。

門松の松

- ◇松は古来より神様が宿る木と考えられている
- ◇松は生命力が強く千代・千年の齢とされ、長寿の木と考えられている
- ◇松は神を祀る（まつる）という言葉につながる
- ◇松の葉は上を向き、さらにに神様を「待つ」という言葉につながる

門松の竹

- ◇竹は万代をふるものとして長寿を願うもの
- ◇竹は成長が早く、生命力の象徴、繁栄の象徴とされる

（引用 神仏ネット）

紙の門松について



近年、次代の辺文神様への信仰心が薄らぎ、迎える時期・方向が簡略化されてきた。さらに、昭和四十年代から、生活改善・山林愛護などにより、ごぼう注連を玄関の左右に、前掛け注連を真ん中に飾る家が多くなってきた。門松を印刷した紙片が配布され、玄関や門柱などに、「紙の門松」を張る家がほとんどになった。

ご利用ください
「紙の門松」

この「紙の門松」は、皆様の共同募金で作成しました。
裏面に点線を引いてあるので、切ってお使いください。

賀
正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会

賀
正



社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会
御代田町共同募金委員会